

香川県坂出市に本社を置く株式会社名物かまどは、創業者荒木三郎が掲げた「心の菓子作り、心のサービス」を経営方針として、1936年の創業以来一貫して地元香川で和洋菓子の製造・販売を行っている菓子メーカーです。

従業員は約200名、本社兼和菓子工場、洋菓子工場と2工場を有し、西は三豊市から東はさぬき市まで県内15店舗での販売やネット販売を行うほか、SAやキオスク、ショッピングセンター、県外百貨店等に卸販売をしております。

社名でもある「名物かまど」ですが、古くより塩業で栄えた坂出にちなみ、その塩を炊くかまどを象ったのがその由来です。

また、「菓子を通して地域社会の文化向上に寄与する」という経営理念の通り、茶会やギャラリー展示活動を行っています。

これからも地元可愛され、親しまれ、育てられる、香川に根ざした菓子メーカーでありたいと考えております。

さて、弊社の安全衛生活動ですが、弊社のような食品工場は重篤な災害はないものの小さな怪我等は起こっています。事故例を分析しますとそのほとんどは「挟まれ巻き込まれ」「清掃中や稼働中の異物等の除去作業」「事故時に機器停止していない」という食品会社で非常に多い罹災パターンで起こっています。

そこに最大の労災リスクが存在するということを踏まえた工場巡回や安全衛生委員会での協議を通して、危険な機器、作業を特定し、従事者に教育、周知するとともに、機器にもわかりやすい形で注意喚起を貼付することで事故防止に努めています。

衛生活動においては、毎月の全従業員残業時間の集計を行い、安全衛生委員会にて配付し業務内容の改善を協議し、その結果、去年は直営店舗の営業時間を30分短縮し残業の抑制に努めています。

年1度の健康診断において法定の健康診断内容以外の乳がんや子宮がん検診、若年者の血液検査等、従業員個々で希望される付加検査について一部会社助成を行っており、従業員健康管理を推進しています。

弊社は女性従業員が全体の75%程を占めておりますので、女性の相談窓口を設け、女性特有の体や心、家庭環境の変化等について相談しやすいような体制づくりを心がけています。

弊社の「心のサービス」は従業員の皆様も安全で安心して健康に働ける職場づくりを行うところにも息づいています。

安全衛生について取り組むべき事項はたくさんありますが、協会の情報や皆様の活動を参考にさせていただきながら、これからも安全安心とおいしいお菓子を皆様にお届けしていきたいと思っております。